

令和3年度 学校評価アンケート 集計結果

1 アンケート実施・方法

対象	回答開始	回答締切	回答方法
保護者	12月1日(水)案内送付	12月10日(金)	Microsoft Formsによる (Chrome Book、携帯電話等 を使用し)回答
生徒	12月1日(水)実施		
教職員	11月26日(金)	12月6日(月)	

2 アンケートへの回答

対象	回答数/在籍	回答率	備考
保護者	108/110	98.2%	
生徒	110/110	100%	休学等生徒除く
教職員	27/27	100%	



岩手県立種市高等学校

令和3年度 学校評価アンケート 集計結果

岩手県立種市高等学校

4 そう思う 3 どちらかといえばそう思う 2 どちらかといえばそう思わない 1 そう思わない

質問 No	内 容	【令和3年度】					【令和2年度】					
		【数値の単位:%】					【数値の単位:%】					
			評 価					評 価				
	肯定	←		→	否定		肯定	←		→	否定	
	4or3	4	3	2	1	4or3	4	3	2	1		
1	学校は日常の様子について、情報発信を適切に行っている。	保護者	94.4	57.4	37.0	5.6	0.0	93.0	49.6	43.4	5.3	1.8
		生徒	93.6	44.5	49.1	5.5	0.9	97.7	48.5	49.2	2.3	0.0
		教職員	100.0	85.2	14.8	0.0	0.0	(回答項目になし)				
2	PTA活動は適切になされている。	保護者	97.2	49.1	48.1	2.8	0.0	97.3	44.2	53.1	1.8	0.9
		生徒	(回答項目になし)					(回答項目になし)				
		教職員	85.2	25.9	59.3	14.8	0.0	85.2	29.6	55.6	14.8	0.0
3	施設・設備において学習環境が整っている。	保護者	92.6	50.9	41.7	7.4	0.0	93.8	52.2	41.6	5.3	0.9
		生徒	86.4	50.0	36.4	11.8	1.8	92.3	40.8	51.5	6.9	0.8
		教職員	88.9	33.3	55.6	7.4	3.7	81.5	29.6	51.9	14.8	3.7
4	授業は適切なものになっている。	保護者	98.1	54.6	43.5	1.9	0.0	96.5	54.9	41.6	3.5	0.0
		生徒	97.3	41.8	55.5	2.7	0.0	96.1	54.6	41.5	3.8	0.0
		教職員	100.0	25.9	74.1	0.0	0.0	88.8	48.1	40.7	11.1	0.0
5	家庭学習によく取り組んでいる。	保護者	66.6	15.7	50.9	22.2	11.1	55.7	16.8	38.9	33.6	10.6
		生徒	42.7	13.6	29.1	34.5	22.7	52.3	13.1	39.2	32.3	19.4
		教職員	14.8	0.0	14.8	77.8	7.4	(回答項目になし)				
6	進路指導は適切なものになっている。	保護者	98.1	50.0	48.1	1.9	0.0	93.8	49.6	44.2	6.2	0.0
		生徒	94.6	45.5	49.1	5.5	0.0	95.4	48.5	46.9	4.6	0.0
		教職員	85.2	33.3	51.9	14.8	0.0	88.8	40.7	48.1	11.1	0.0
7	生徒指導は適切なものになっている。	保護者	96.3	46.3	50.0	2.8	0.9	97.3	50.4	46.9	1.8	0.9
		生徒	92.7	33.6	59.1	6.4	0.9	96.2	48.5	47.7	3.1	0.8
		教職員	96.3	37.0	59.3	3.7	0.0	74.0	48.1	25.9	25.9	0.0
8	学校行事（スポーツ大会、種高祭、修学旅行等）は適切なものになっている。	保護者	89.8	41.7	48.1	7.4	2.8	99.1	46.0	53.1	0.9	0.0
		生徒	83.6	44.5	39.1	10.0	6.4	94.7	56.2	38.5	4.6	0.8
		教職員	88.9	51.9	37.0	11.1	0.0	88.9	51.9	37.0	11.1	0.0
9	部活動は適切なものになっている。	保護者	95.3	54.6	40.7	3.7	0.9	92.0	52.2	39.8	7.1	0.9
		生徒	92.7	54.5	38.2	4.5	2.7	90.0	52.3	37.7	6.9	3.1
		教職員	77.8	22.2	55.6	22.2	0.0	81.5	25.9	55.6	18.5	0.0
10	学校生活において、安全は確保されている。	保護者	98.1	53.7	44.4	1.9	0.0	96.4	56.6	39.8	1.8	1.8
		生徒	97.3	59.1	38.2	2.7	0.0	95.4	60.0	35.4	4.6	0.0
		教職員	100.0	55.6	44.4	0.0	0.0	92.5	48.1	44.4	3.7	3.7
11	いじめの未然防止・早期発見のために先生方は取り組んでいる。	保護者	95.4	45.4	50.0	3.7	0.9	93.9	38.1	55.8	5.3	0.9
		生徒	85.4	33.6	51.8	10.0	4.5	80.7	46.9	33.8	16.9	2.3
		教職員	96.3	85.2	11.1	3.7	0.0	96.3	66.7	29.6	3.7	0.0
12	困ったことがあるときに、先生方に相談しやすい環境・雰囲気がある。	保護者	89.8	49.1	40.7	8.3	1.9	91.1	39.8	51.3	8.0	0.9
		生徒	82.7	30.9	51.8	14.5	2.7	83.9	38.5	45.4	13.1	3.1
		教職員	100.0	29.6	70.4	0.0	0.0	88.9	29.6	59.3	11.1	0.0
13	友人関係は良好である。	保護者	93.5	63.9	29.6	3.7	2.8	95.6	48.7	46.9	2.7	1.8
		生徒	94.5	53.6	40.9	5.5	0.0	92.3	58.5	33.8	6.2	1.5
		教職員	100.0	22.2	77.8	0.0	0.0	(回答項目になし)				
14	充実・満足した学校生活を送っている。	保護者	94.4	50.9	43.5	2.8	2.8	92.1	36.3	55.8	8.0	0.0
		生徒	96.4	40.9	55.5	2.7	0.9	86.9	51.5	35.4	9.2	3.8
		教職員	100.0	25.9	74.1	0.0	0.0	96.3	33.3	63.0	3.7	0.0

: 昨年度より上昇
 : 高値(合計90%以上)

【集計結果より】

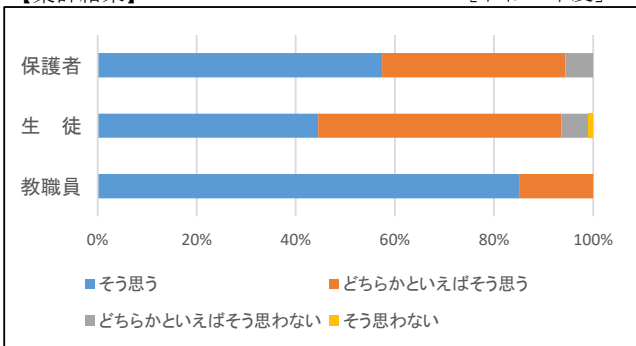
昨年(令和2年)度は多くの項目において高値を得られた。特に保護者アンケートでは、すべての項目で一昨年(令和元年)度より高値をいただいた。そして今年(令和3年)度は約半分の項目において昨年以上の評価が得られた。このことは本校がより高い水準で発展していることの証であり、私たち教職員の日々の教育活動に対する評価と捉え、非常に嬉しい限りであり感謝いたします。このことに決して甘えず、更なる高みを目指し、教育活動に専念していきたいと考えている。

個々の質問項目における分析・考察等は以下のとおりであるが、保護者及び生徒からは「学校行事の適切さ(No8)」について昨年度より低値な評価となった。昨年度より新型コロナウイルス感染症の予防の観点から多くの行事を中止や規模縮小のうえ開催せざるを得なかった(「もっとできないのか」という生徒たちからの声もあがっていた)。それらに対する不満もあったに違いない。今後は内容を精査し、改善等について考えていきたい。

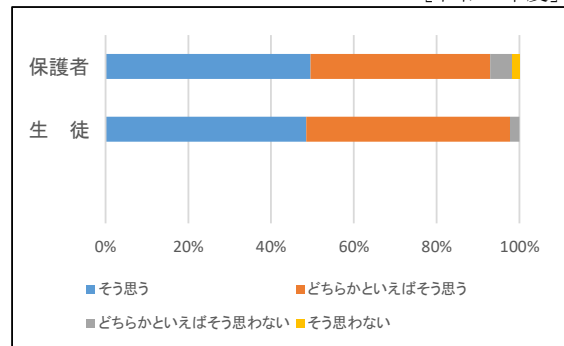
今年度は保護者の方々から多くのご回答を得ることができた(回答率: 86.9%(R2)→98.2%(R3))。お忙しい中、ご回答いただいたことに感謝したい。

質問No 1 学校は日常の様子について、情報発信を適切に行っている。

【集計結果】 [令和3年度]



[令和2年度]

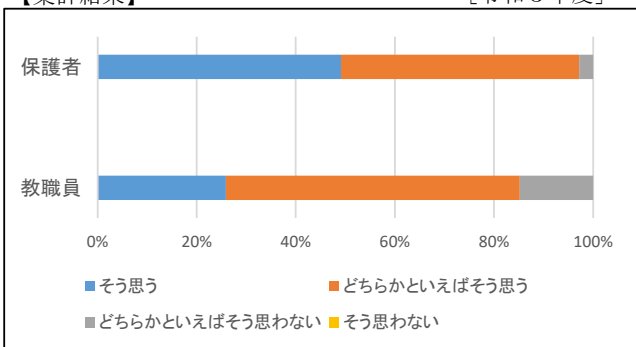


【考察、所感】

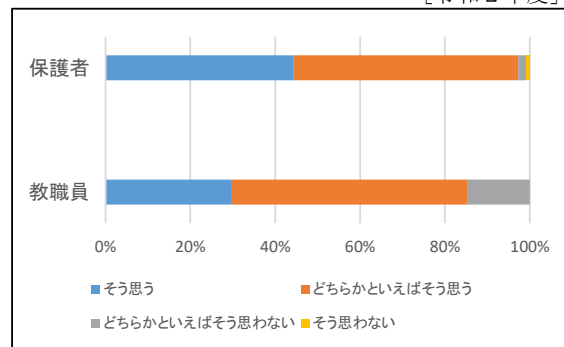
昨年度に引き続き高評価が得られた。学校広報誌「種高魂」では学校行事や生徒たちの日常の様子を掲載した(11部発行(R4.1現在))。また学校ホームページも33回更新(R4.1現在)し、最新の情報を発信できた。「マチコミ」のメール配信では保護者への連絡のほかに本校に関する新聞等スクラップ記事を掲載している「キラリ!種高! 躍進!種高!」を配信し、最新の学校活動について紹介できた(63回配信(R4.1現在))。

質問No 2 P T A 活動は適切になされている。

【集計結果】 [令和3年度]



[令和2年度]

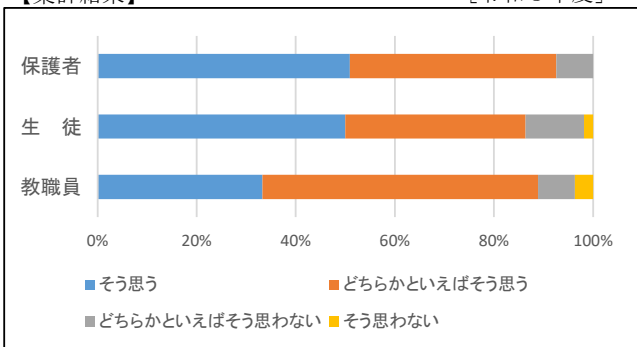


【考察、所感】

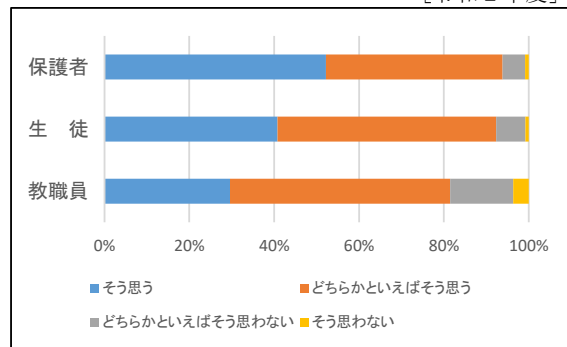
コロナ禍により諸活動が制限され、活発な活動ができないことについて残念でならない。そのような中、朝の挨拶運動等で活動をしていただいた。来年度こそP T A総会、種高祭P T Aバザーが実施できる環境になることを願いたい。

質問No 3 施設・設備において学習環境が整っている。

【集計結果】 [令和3年度]



【集計結果】 [令和2年度]

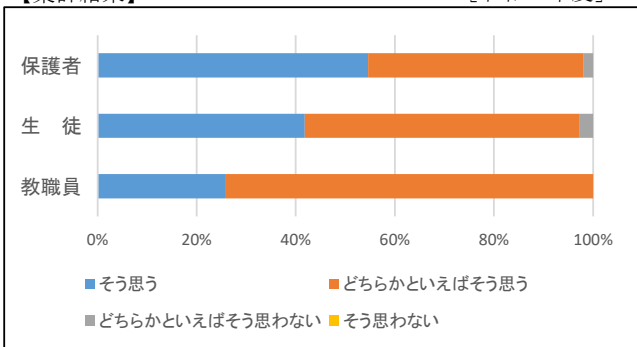


【考察、所感】

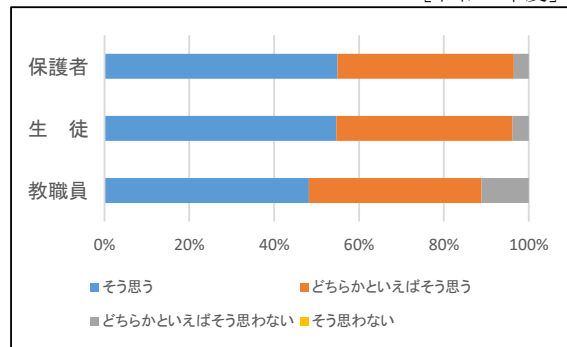
校舎の老朽化は否めないが、美化活動の推進を啓蒙させ実践できた。学びの改革プロジェクト（GIGAスクール構想）に係る県立学校ICT機器の整備により、本校のICT機器環境も大幅に充実した（「一人1台パソコン」が完成した）。また各HR等には来年度から使用できる冷房設備も完備され、快適な環境で学習できるだろう。

質問No 4 授業は適切なものになっている。

【集計結果】 [令和3年度]



【集計結果】 [令和2年度]

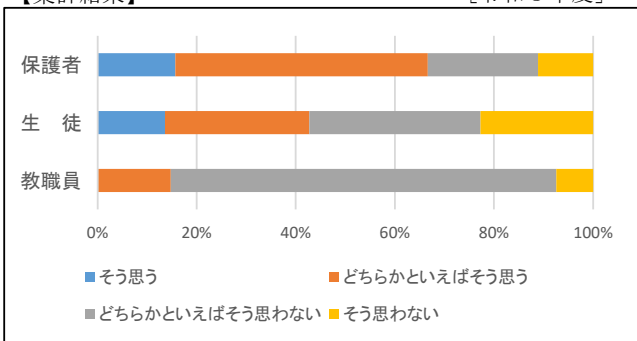


【考察、所感】

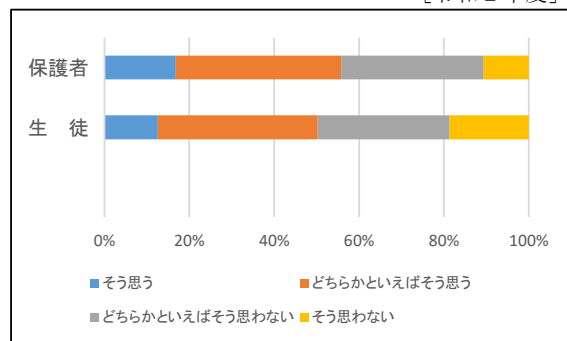
この質問項目では保護者、生徒、教職員の三者とも昨年度より高評価となった。「授業で勝負」する教員として、生徒、保護者から高評価が得られたことに嬉しく思っている。10月に実施した「授業アンケート」でも昨年度以上の高評価であったが、「グループワーク等の機会の設定」が乏しいという意見もあった。生徒たちにとってより良い授業が展開できるようにこれからも研究と修養に努めたい。

質問No 5 家庭学習によく取り組んでいる。

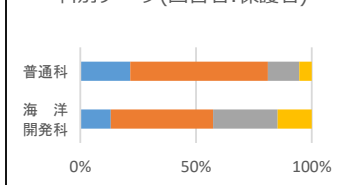
【集計結果】 [令和3年度]



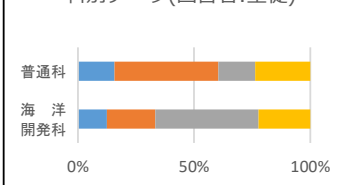
【集計結果】 [令和2年度]



科別データ(回答者:保護者)



科別データ(回答者:生徒)



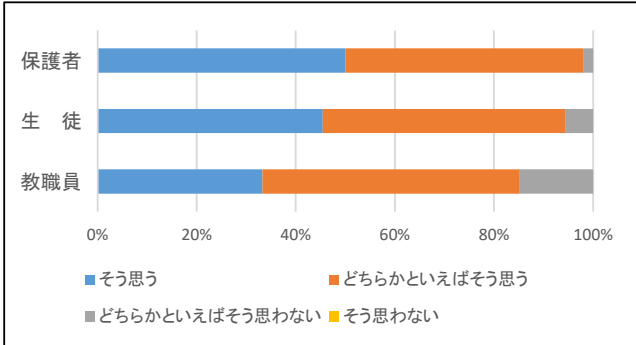
【考察、所感】

ほかの質問項目より否定的な回答が多く、生徒の半数以上が家庭学習に消極的な取り組みだという回答だった。また教職員の85%も同様な回答であった。教職員間でも「本校生徒はもっとできるはずだ」という意欲的に学習に取り組んでほしいと願う声は大半を占める。また生徒たちも「まだまだできる」という回答をしていると考えると、来年度以降の本校の学習活動の取り組みに困難さは見られないと考えている。
 ※科別データを添付した。海洋開発科(生徒)の家庭学習の意識の低さが見られた。

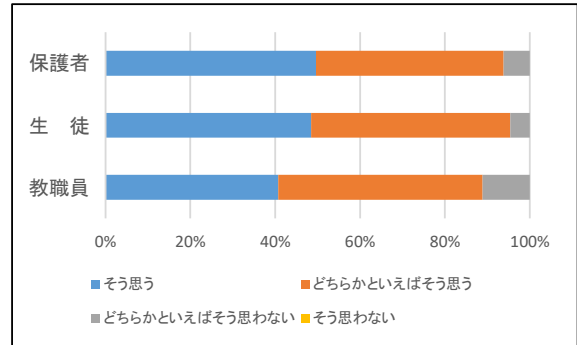
質問No 6 進路指導は適切なものになっている。

【集計結果】

[令和3年度]



[令和2年度]



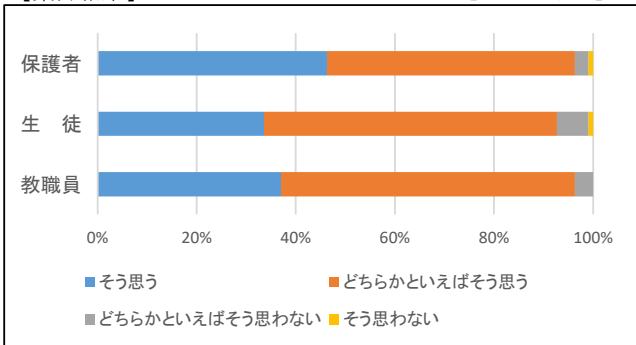
【考察、所感】

高値で推移した。3年生への進路指導及び進路決定はもちろんであるが、1、2年生への指導も概ね良好だったと考えている。今後の課題として教職員間では海洋開発科生徒の大学等進学指導の充実（組織的な取り組みの実践）があげられている。

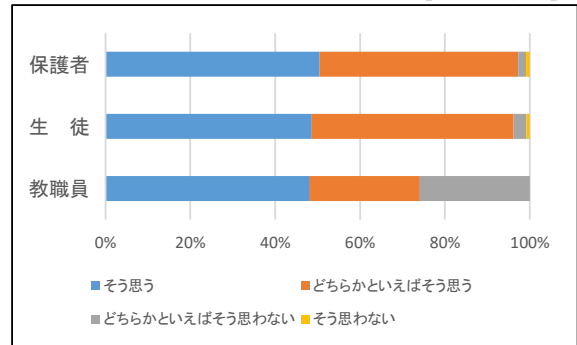
質問No 7 生徒指導は適切なものになっている。

【集計結果】

[令和3年度]



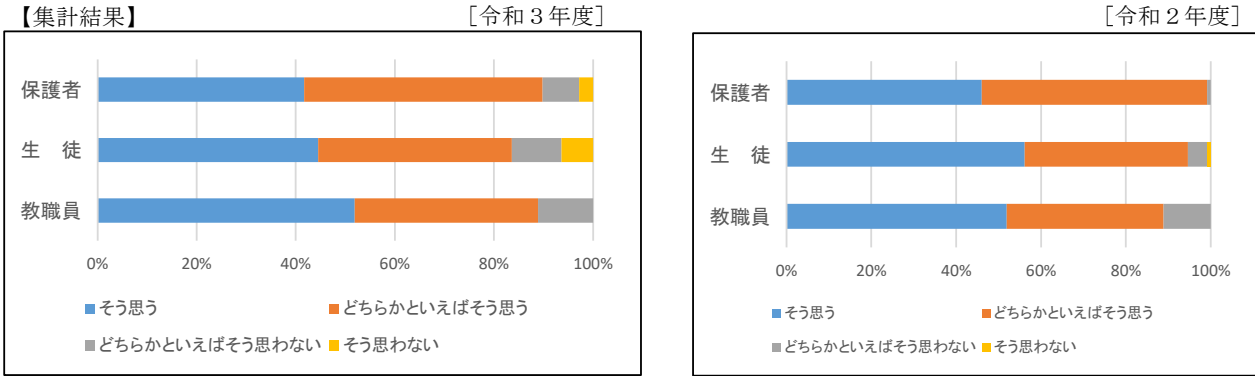
[令和2年度]



【考察、所感】

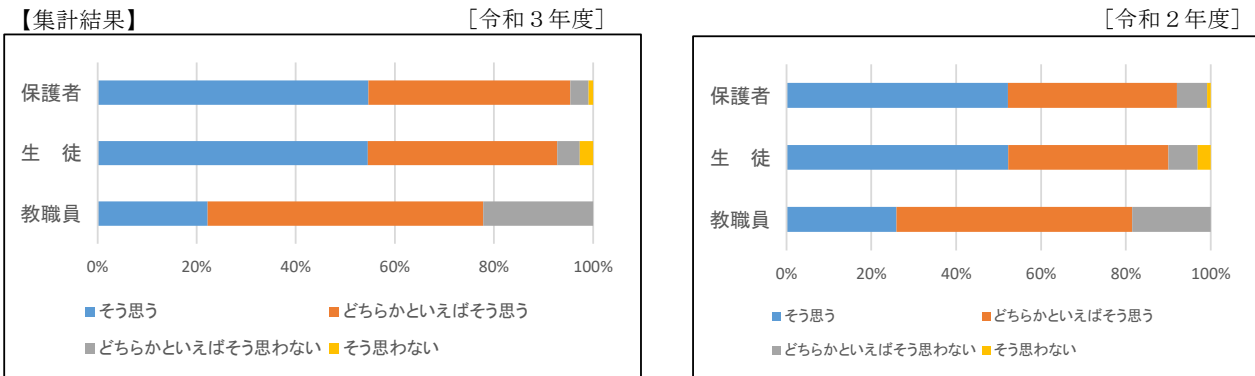
高評価が得られた。教職員間では「より高い」指導を目指したいと考えおり、「更なる高み」への到達を目標とした。些細な案件でも教職員全体で情報を共有し指導を実践してきた。また生徒たちの声にも耳を傾け、実施・改定しながら生徒指導を実践してきた（ソックスの色の変更、女子のスカート・スラックスの導入等）。今後も認めること（許すこと）と認められないこと（許さないこと）を明確にし、メリハリのある生徒指導を展開していきたい。

質問No 8 学校行事（スポーツ大会、種高祭、修学旅行等）は適切なものになっている。



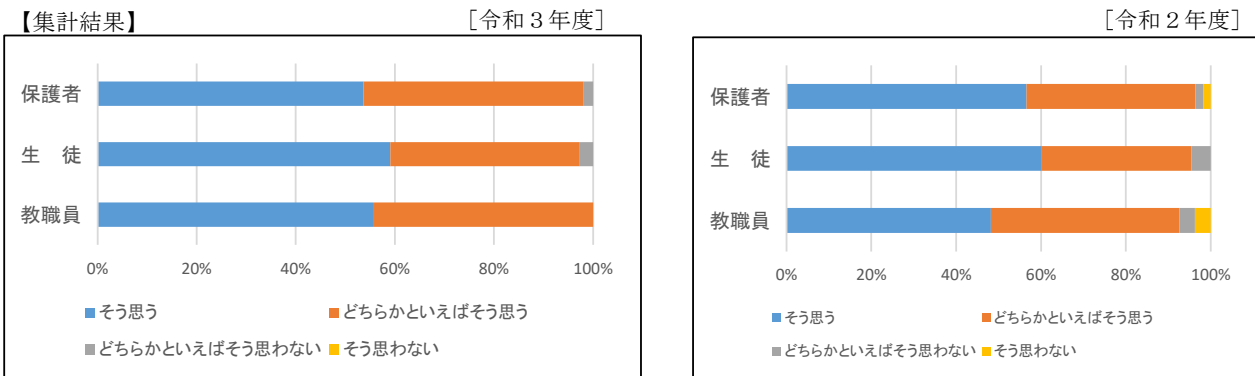
【考察、所感】
 昨年度より三者（保護者、生徒、教職員）とも低値となった項目である。今年度は昨年度に引き続き修学旅行（2年）が中止となった。また、文化祭「種高祭」は無観客で開催した。新型コロナ感染対策として生徒たちは「我慢」を実践してくれており感謝と申し訳ない気持ちである。そのような中での上記結果は当然のものと考えている。一日も早く現状が改善され、一昨年までの「普通の学校生活」が送れるよう願う。

質問No 9 部活動は適切なものになっている。



【考察、所感】
 昨年度末にバレーボール部（女子）の休部、総合文化部の新設（文化部の統合）をおこなった。夏には3年生の活動が終わったことにより、硬式野球部員がいなくなった（今夏には合同チーム初勝利を本校が主戦となり成し遂げた）。部の数を減らすことは生徒たちの選択肢を減少させることになるが、人数不足により大会への出場や日々の活動の困難さを問題としている部もありやむを得ないものもある。今後も本校の大きな課題である。

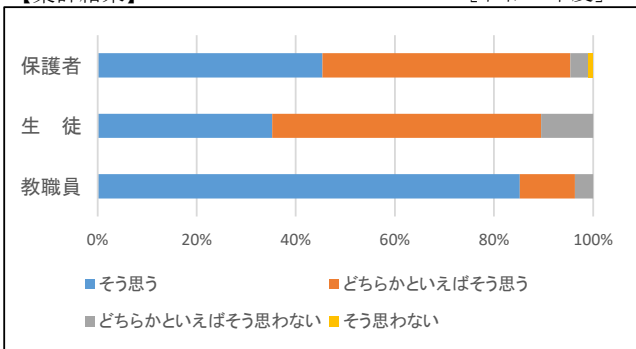
質問No 10 学校生活において、安全は確保されている。



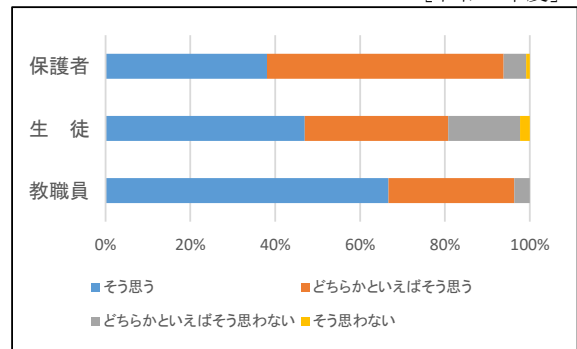
【考察、所感】
 この質問項目では保護者、生徒、教職員の三者とも昨年度より高評価となった。新型コロナ感染対策においては、保護者の方々にも感染対策に関してご理解、ご協力をいただき感謝している。今年度は交通事故等の発生もなく推移できた。今後も交通安全指導の充実を図りたい。そして「安全・安心で当たり前」の学校環境を構築していきたい。

質問No 11 いじめの未然防止・早期発見のために先生方は取り組んでいる。

【集計結果】 [令和3年度]



【集計結果】 [令和2年度]

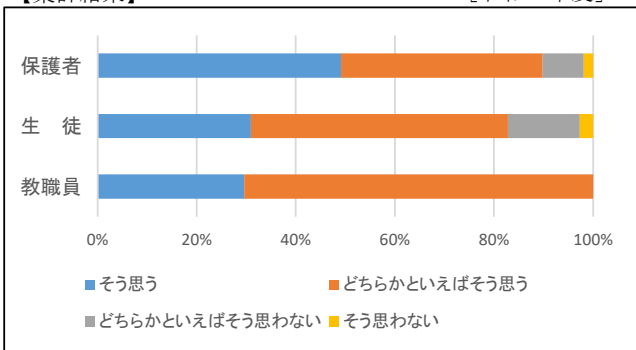


【考察、所感】

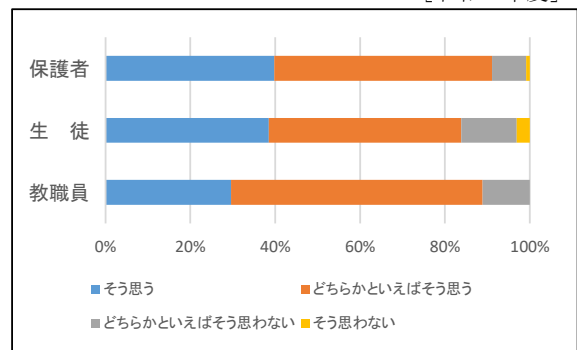
いじめとして認知し、指導した問題行動があり残念であった。今年度もSNSを起因とするいじめ行為もあった。今後、些細な出来事も見逃さず、教職員間で問題を共有し生徒指導していきたい。また個人の尊厳について考えさせ、他者を尊重し合える生徒たちの育成を図っていきたい。

質問No 12 困ったことがあるときに、先生方に相談しやすい環境・雰囲気がある。

【集計結果】 [令和3年度]



【集計結果】 [令和2年度]

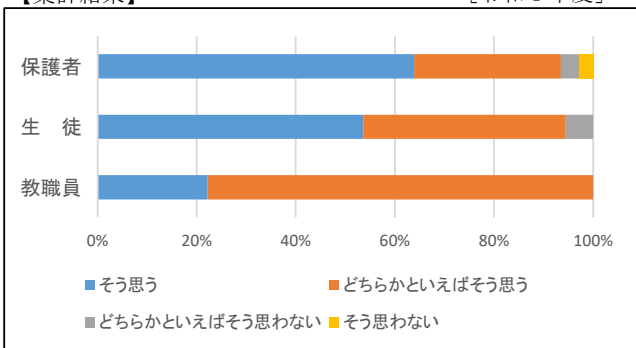


【考察、所感】

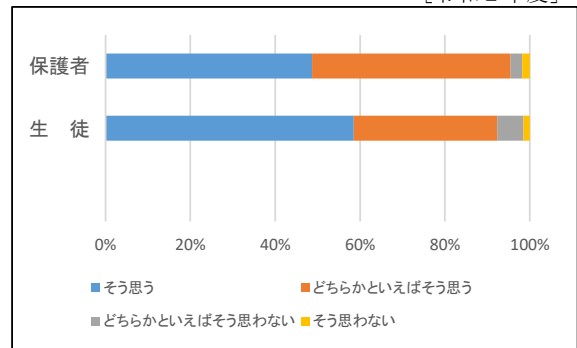
生徒たちが何でも話しかけやすい環境づくりの必要性、大切さを感じている。スクールカウンセラーには月2～3回来校してもらい、相談件数も多く、有効的に活用されている。今後は今以上に3年間を見通した計画・指導を実践していきたい。

質問No 13 友人関係は良好である。

【集計結果】 [令和3年度]



【集計結果】 [令和2年度]



【考察、所感】

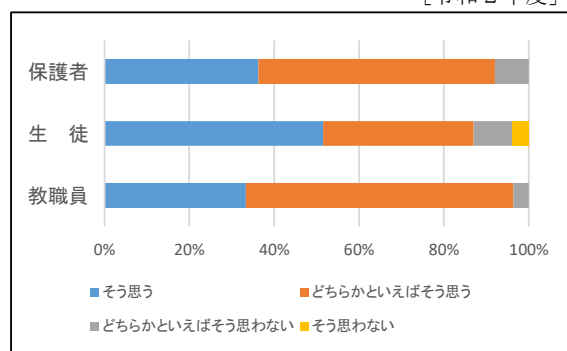
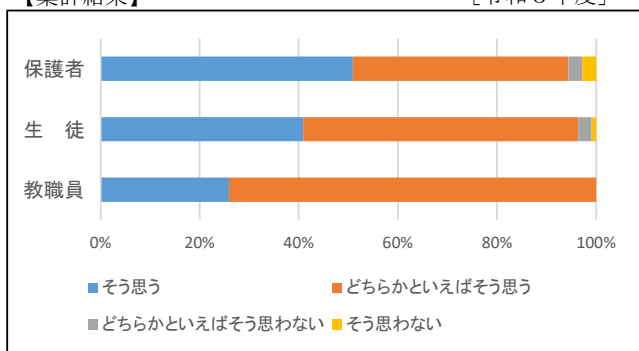
学校生活の基盤となるものであり、良好な人間関係の構築は今後の人生の基軸となるものと考えている。高等学校という場所を「人生の学びの場」と捉え、「訓練」「経験」し社会へ巣立ってほしいと考えている。

質問No 14 充実・満足した学校生活を送っている。

【集計結果】

[令和3年度]

[令和2年度]



【考察、所感】

この質問項目では保護者、生徒、教職員の三者とも昨年度より高評価となった。今年度も昨年度同様にすべての活動において新型コロナ感染対策のための条項が付され、制限ある活動にせざるを得なかった。このコロナ禍において生徒たちが充実・満足した生活を送ることができたとは到底思えない年だった。より多くの生徒たちが「満足できる、実りある種高生活」の実現のために教職員一丸となり精進したい。

保護者アンケート自由記載欄への記載内容及び学校側の回答

QRコードで簡単に回答ができて良かったです。次回からはアプリやメールでQRコードを送っていたら幸いです。(1年)

【学校側の回答】

昨年度より Microsoft Forms を利活用したアンケートを実施しております。皆さまのスマートフォンで回答ができること、集計作業が短時間でできることから次年度以降もこのような形式での実施することと思います。貴重なご意見ありがとうございました。お互いが効率良く実施できればと考えております。ご意見を参考にさせていただきます。

修学旅行どうなるんだろうと呟いています。いつも頑張っているので何かやって欲しいという気持ちです。(2年)

【学校側の回答】

「高校生活の一番の思い出は？」とアンケートを実施すると、修学旅行は上位に位置づけられる高校生活の最大の行事です。そのような行事を中止するときはやってくるとは、私たちも考えてもみませんでした。非常に残念であり同じ気持ちです。来年度以降は新型コロナ感染に関する状況等を正しく把握し、実施の是非について考えていきます。なお今年度は代替行事としてスキー体験研修(3月上旬予定)を実施することになっております。

進学校へ書類提出する際に、先生方の書類確認が遅い(締切ギリギリだった)と思った。余裕をもって出願等ができたならば子供も安心だと思った。(3年)

【学校側の回答】

誠に申し訳ございませんでした。時間的余裕なく指導してしまったことに謝罪申し上げます。進路指導における書類等は誤記のないように複数の職員でチェックをおこないます。それに伴い時間も要します。よってそれらのことを勘案し指導すべきだったと考えております。今後はこのようなことのないよう個々の生徒の締切期日等を十分に把握し指導してまいります。

社会人としての一般知識を身につけるような授業があれば良いと思う。(3年)

【学校側の回答】

毎年、次年度入学者の教育課程(カリキュラム)について校内で審議し作成しております。来年度の教育課程作成のご意見とさせていただきます。

「心の疾患」について先生方も理解を深めて欲しい。
同じことをしても生徒によって態度を変える先生がいるようだ。どの子にも同じ対応をして欲しい。(3年)

【学校側の回答】

今年度も本校では教職員対象に上記に係る研修会等を実施し、理解を深めてきました。本校でも「心の疾患」により登校等に支障をきたしている生徒も見受けられます。これからも研修等を開催しながら、生徒理解に努めるとともに指導を実践していきたいと考えています。
ある種の指導・助言をおこなった際に、生徒により受け取り方が異なることもあります。私たち教職員はそのことを十分に理解しながら生徒に適した教育活動・生徒指導を実践していくことの必要性を感じています。これからも「公平」と「公正」を理解し生徒たちを育てていきたいです。